

江東区と「ごみ」の関わりを学ぼう！

「電力の地産地消」と「ごみ戦争」

えこくくる江東では、YouTubeで
ごみ戦争に関する動画を公開しているよ！
ホームページをチェック！！



こうとうく 江東区と せんそう 「ごみ戦争」

① 昭和 30 年代の夢の島には、他の区からたくさんのごみ収集車が集まり、運んだごみがほとんどそのまま捨てられていたんだ。だから、江東区はハエの大発生やにおいによって、他の区にも清掃工場を建てるように東京都に訴えたんだよ。



当時のハエが飛んでいる様子（イメージ）

② でも、ごみは捨てられ続け、やくそくしていた清掃工場はなかなか他の区に建ててもらえなかった。もういい加減にしてほしいって言うおうとしていたところ、都知事がごみ問題と向き合う「ごみ戦争」を宣言したの。江東区は東京都と他の区へ、ごみを自分の区の中で片づけるように求めたのよ。



昭和 48 年頃（写真：東京都清掃事業百年史）

③ ところが、ごみを燃やすための清掃工場を自分の区に建てることに大反対する人たちが杉並区にいたので、江東区は杉並区からのごみ収集車を入れないようにしたの。そうしたら、杉並区では清掃工場を建てることになったの。「ごみ戦争」は、都民がごみ問題を深く考えるきっかけになったのよ。



④ 江東区は東京のごみ問題で大きな役割をはたしたんだね。私たちも一人ひとりでできることをしなくてはならないね。



一人ひとりができること

～ごみを減らすための R で始まる 5 つの行動～

- R**efuse (リフューズ) アル
ごみになるものを断る
- R**educe (リデュース) アル
ごみになるものを減らす
- R**euse (リユース) アル
つかえるものは捨てずに使う
- R**epair (リペア) アル
こわれたものを修理して使う
- R**ecycle (リサイクル) アル
もう一度資源として生かす



くない せいそうこうじょう はつでん でんき がっこう つか 区内の清掃工場で発電した電気を学校で使っています!



家で使っている電気は、電力会社がほかの地域の火力発電所でつくるものがほとんどなんだ。でも、江東区のすべての区立小・中学校と義務教育学校では、区内の清掃工場でごみを燃やすときにつくる**ごみ発電**の電気を使っているんだ!!

わたしたちは、地元の清掃工場で作られた電気を使うことで、学校生活を送っているのね。

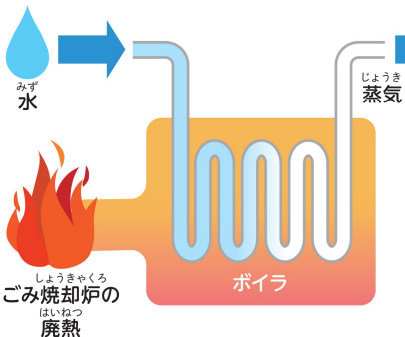


自分の地域で電力をつくり、自分の地域で使うことを「**電力の地産地消**」というんだよ。

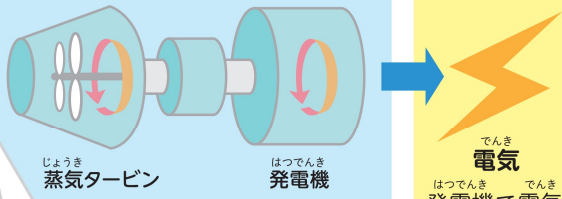


はつでん はつでんほうほう ごみ発電ってどんな発電方法?

ごみを燃やす時に出る熱を利用して蒸気をつくる



蒸気力でタービンのはねを回転させる



蒸気タービン
蒸気は、温水プールをあたためるにも利用します。
使い終わった蒸気は水に戻して再利用します。

発電機で電気を起こす



ごみ発電は、ごみを燃やした熱を利用して蒸気をつくり、その蒸気力でタービンのはねを回して電気をつくっているんだ。

石炭・石油や天然ガスを燃やして、二酸化炭素 (CO₂) を多く出す火力発電とはちがうよ。CO₂を増やすことなく電気をつくることができて、環境にやさしい発電方法だね。



二酸化炭素 (CO₂) を増やさないことは、地球温暖化防止につながるね。

水と緑豊かな地球環境にやさしいまち

ゼロカーボンシティ江東区

検索

